

令和4年度 社会学類編入学試験

【法学】

専門科目問題冊子

(注意事項)

- ・問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
- ・これは法学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・法学の専門科目問題は、【問題1】、【問題2】の2つで構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答用紙は、【問題1】、【問題2】のそれぞれについて1枚を使用してください。(合計2枚を使用)。なお、解答用紙の第1行目に、解答した問いの番号(【問題1】、【問題2】)を、それぞれ記入してください。
- ・解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

【問題1】

問1 次の用語の意味を説明しなさい

- (1) 人
- (2) 同時死亡の推定
- (3) 条件
- (4) 要役地
- (5) 総有
- (6) 先取特権
- (7) 更改
- (8) 準委任
- (9) 親族
- (10) 特別養子

問2 小学生が学校内で他人に重傷を負わせた場合、自宅にいた保護者はどのような責任を負うと考えられるか、論じなさい

以上

【問題2】

1. XはAを殺害しようとして発砲したが、弾丸はAに命中せず、たまたま通りかかったBに当たってBが死亡した。Xは、Bが近づいていたことを認識していなかった。この場合のXの罪責について論じなさい。
2. 不作為による殺人罪はどのような場合に成立するか。具体例を挙げつつ説明しなさい。

令和4年度 社会学類編入学試験
【法学】
外国語（英語）問題冊子

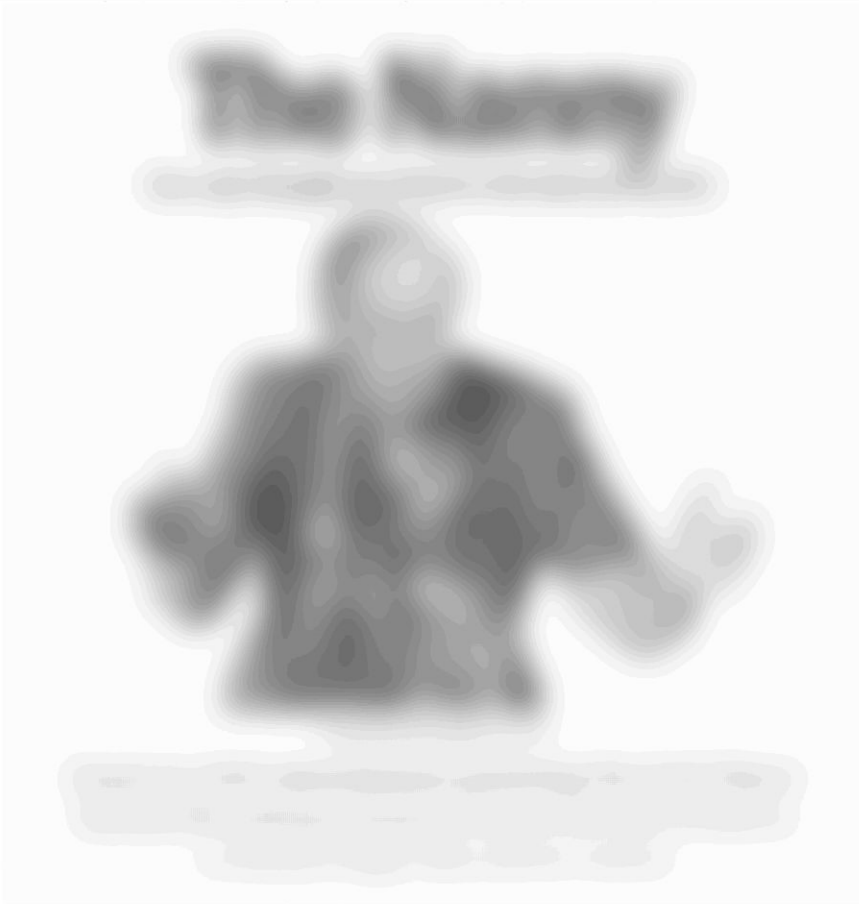
(注意事項)

- ・ 問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
- ・ これは**法学主専攻**の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・ すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・ 解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

次の英文を読み、[問 1]から[問 4]までの各問に日本語で答えなさい。

1. The first part of the passage describes the author's childhood memories of his father. He recalls how his father was always busy with work and rarely spent time with him. This made him feel lonely and sad. However, he also remembers his father's strict discipline and high expectations for him. These experiences shaped his character and made him a hardworking person.

2. In the second part, the author talks about his father's influence on his career. He mentions that his father's advice to study hard and work honestly has guided him throughout his life. He also shares how his father's perseverance in the face of difficulties inspired him to overcome his own challenges.



3. The author concludes the passage by reflecting on his father's legacy. He expresses his deep respect and love for his father and how his father's values continue to guide him. He also mentions that he wants to be like his father and make a positive contribution to society.

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]



[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

(註 1) obesity 肥満

(註 2) nanny state 子守国家

(註 3) the draconian government overreach 古代アテナイの立法者ドラコンによるものを想起させるような、政府による越権行為

(註 4) abhor 嫌う

[問 1] 下線部(A)に関連し、問題文とした英文の冒頭から末尾までを読み、そこで示される論拠も踏まえた上で、16 オンス (約 470 ミリリットル) より容量が大きい甘味飲料のフードコートにおける販売を、ニューヨーク市が禁止することの是非について、あなたの考え

を述べなさい。なおその際には、以下のキーワードに必ず触れること。ミル・危害・パターンリズム。

[問 2] 下線部(B)を全訳しなさい。

[問 3] 下線部(C)に示されるように、ミルの主張には疑義が呈されているが、それはどのような根拠によるものか。下線部(C)が含まれる段落およびその次の段落における記述をもとに、簡潔に説明しなさい。

[問 4] 下線部(D)に示される、「現在バイアス」について、下線部(D)が含まれる段落に示されるもの以外に、どのような具定例がありうるか。一つ事例をあげ、それが「現在バイアス」の例となることを簡単に説明しなさい。

出典 : Cass Sunstein (Mar. 7. 2013) "It's For Your Own Good!" *The New York Review of Books*. (問題作成に当たって、註を挿入した。)